発表後には記念撮影も行われました

三角小で「二分の一成人式」

10歳の節目に意見発表

1/20　三角小で「二分の一成人式」が開かれ、4年生や保護者、三角地区更生保護女性会ら約70人が参加しました。10歳の節目を迎えた児童たちは、家族への日ごろの感謝や将来の夢など自らの意見を発表し、その資料を保護者に手渡しました。また、更生保護女性会（渡邉眞里会長）が児童に手作りの記念品を渡すなど終始和やかな雰囲気で、会場は笑顔に包まれていました。

結成10年「スローハンズ」が奏でる優しい音色

街なか図書館出町でコンサート

優しい音色に心温まるひととき

1/20　街なか図書館出町で「新春クラシックギター＆ウクレレアンサンブルコンサート」が開催され、地元住民ら約30人がギターやウクレレの生演奏を楽しみました。市内外の音楽愛好家6人が、楽器の特徴などの解説を交えながら、クラシックや童謡メドレー、歌謡曲など13曲を披露。訪れた人たちは、曲に合わせてリズムを取ったり、一緒に口ずさんだりしていました。

豊住賢一理事長（左）と守田憲史市長（右）

熊本第一信用金庫と創業支援協定

一貫した起業支援を

1/21　市は熊本第一信用金庫（豊住賢一理事長）と創業希望者をサポートする「経営及び創業支援に係る業務連携・協力に関する連携協定」を締結しました。この協定により、希望者に対して創業準備から創業後まで一貫した支援が行われます。守田憲史市長は「セミナーや相談などでご指導いただきたい」と期待を寄せ、豊住理事長は「成果につながる支援をしていく」と力を込めました。

守田憲史市長(左から3番目)と県立5校の校長

市内の県立5校と災害協定

地域に頼られるまちづくりを

1/21　市と市内の県立5校が「避難所等利用に関する基本協定」を締結しました。同協定で、大規模災害時には松橋高・小川工高が避難所として、松橋・松橋東・松橋西の3支援学校は福祉避難所として地域住民の受け入れが可能になります。守田憲史市長は「防災体制のさらなる強化が図られる」とあいさつ。松橋東支援学校の松田満校長は「地域に頼られる学校を目指したい」と述べました。

「宇城市手をつなぐ育成会」障がい者絵画教室作品展

魅力あふれる絵画や書がずらり

1/7～30　障がいのある人とその家族などで構成する「宇城市手をつなぐ育成会」（北島和子会長）会員の作品展が市役所で開かれました。ロビーに展示されたのは、鮮やかな色彩で描かれた水彩画など51点と、丁寧にしたためられた書道作品3点。作品を鑑賞した人たちからは、「心が和んだ」「力強い鳥の絵が印象的だった」「作品を購入してみたい」などの感想が寄せられました。

色鮮やかな作品とそれを鑑賞する人たち

宇城広域連合消防本部中高層建物火災訓練

はしご車を使った救助などを想定

1/18　三角地区生涯学習センター（旧三角中）で宇城広域連合消防本部の救助訓練が行われました。防災拠点センター建設に伴い解体予定の同施設で実施されたもの。火災が発生し、3階の屋上に逃げ遅れた人がいるとの想定で、はしご車を使った救助や放水の訓練が行われました。消防本部では今後も訓練を重ね、救助技術向上に役立てていくとのことです。

鉄製の防火扉を切断し建物へ突入する訓練

熊本県家庭教育支援功労者表彰

地域の未来を担う子どもたちのために

1/20　不知火町の中川浩子さん（80）が、県教委から表彰を受けました。中川さんは長年、松合小放課後子ども教室のコーディネーターとして教室の運営に携わりながら、学校や家庭、地域教育の連携・運営を検討する委員会でも、企画・計画策定に携わってきました。中川さんは「地域の皆さんと交流しながら活動することができた。今後も、子どもたちのために頑張りたい」と話しました。

社会・家庭教育への貢献が認められました

「第13回みすみランラン駅伝大会」

タスキをつないで戸馳島を一周

1/20　「みすみランラン駅伝大会」が開催され、小学生の部、中学生・一般の部合わせて16チーム、約70人が参加しました。旧三角町時代に「祝・成人駅伝」として始まったこの大会は、合併を機に戸馳島の特産品「洋ラン」と走る「ラン」の意味をかけた名称に変更され、毎年開催されています。今年も島を周回し、約40mの高低差のあるコースをランナーたちは力強く駆け抜けていました。

沿道からは大きな声援が送られました